（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	あらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築している。 定期的に一人一人と面談を行い、経営トップに直接相談出来る仕組みがある。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	社内行事を積極的に行い、コミュニケーションを密に取る事で言い易い体制を構築し、面談を通じて経営トップに直接相談出来る仕組みがある。 【予定】ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記する。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	労働基準法の改正内容を共有している。 長時間労働をしない為、改善活動や納期管理、品質管理の委員で活動を行い、時間の管理、労働生産性の改善を行っている。								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	外国人労働者を積極的に採用し、あらゆる雇用条件で日本人と同様としている。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	5S活動を展開し職場の環境整備に努めている。 改善活動を通じ、危険個所の是正、働きやすい環境の整備を行っている。			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	定期的な面談の機会を設け、悩みや心配事をヒアリングしている。 【予定】メンタルヘルスに関する職場の理解を促進する為研修を実施する。			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	積極的に多様な人材の採用を行っている。 65歳以上の高齢者の継続雇用制度も導入済。 【予定】機械化、IoTを積極的に活用し、性別や人種、年齢に関わらずいきいきと働ける職場作りを目指す。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	資格取得制度を設け、費用は会社で負担し、積極的に能力開発できる体制を整えている。 外部研修の情報を共有し、希望者は積極的に受講できる体制を整えている。				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	人事考課制度を導入し公平な対応をしている。 同一労働同一賃金等の原則に沿って定期的に必要であれば改善を行い、体制の整備を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	毎朝、全員参加によるラジオ体操を実施している。 【予定】全員が健康で豊かな生活が送れる様、健康経営についての見聞を常に広め、健康経営優良法人の取得を目指す。			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	廃棄物を種類毎に分別し、定期的に量を測定し管理、適切な業者での適切な処理をしている。 削減の為の目標を決め、活動し管理している。											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	電気、水道、ガス等の使用量を計測し、また、削減目標を定め積極的に活動している。(EA21)							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	第三者による省エネ診断を実施し、結果を基に省エネ目標を設定し、二酸化炭素排出量を把握し省エネ活動を推進している。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	法令等で規制されている有害物質を把握し、使用量の計測、計画に基づいた活動を推進している。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境に配慮した製品の購入を積極的に行い、廃棄物の適正な分別を徹底して行っている。 会社周辺の清掃活動を定期的に開催し、住みよい街づくりに寄与している。						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	EA21の活動を通して、裏紙の利用やウェスの再利用を積極的に行い、廃棄物の分別･削減を推進している。												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	水道使用量を把握し、自動水洗の設置等を行い削減活動を推進している。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	エコアクション21を取得している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	ホームページ上で「環境経営方針」「環境経営レポート」を公表している。												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】太陽光パネル、その他再生可能エネルギー発生装置の導入を検討する。							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	環境負荷低減に資する製品として、グリーン調達を積極的に行っている。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	【予定】汚職、増収賄を禁止する方針を就業規則に記載し全員への周知を図る。																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	【予定】不正競争行為を含む行動規範の整備と、社内教育を実施する。																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	特許･商標等知的財産権の取得･管理している。 製品開発における特許侵害等の調査を実施している。								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報の扱いに関する規定を設け適正に管理している。																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	自社製品のサプライチェーンを把握している。																16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	自社の情報を開示し、サプライヤー･事業パートナー等と認識を共有し共に取り組んでいる。 定期的に取り組み状況を確認する事で、改善改訂を行っている					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	安全確保の観点を踏まえた取扱説明書を作成している。 製品設計時に想定されるリスクの洗い出しを行い、対策を講じている。			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	管理グループが中心となり、顧客からのクレーム、指摘事項、要望を基に業務･工程等の改善を行っている。 EA21の活動を通じ、不具合情報を社内で共有し、事例の発表により再発の防止や類似事例での不適合品の流出防止のための教育を定期的に行っている。									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	営業･設計の段階で環境影響低減に寄与する設備の提案を行っている。						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	大学等と連携し社会課題を解決する製品の開発を行っている。（穀類一粒選別機、小水力発電、ｽﾜﾘｶﾌﾞﾗﾝﾄﾞ）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	地域貢献・社会貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	商工会議所や地域の各種団体等と連携し、地元の小学生や修学旅行生の職場体験を実施、また、移住予定者へも見学会を開催し地域と密接に関わっている。				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	定期的に会社周辺の清掃活動を行っている。 地域の学生と積極的に交流している。 地域の行事にも積極的に参画している。				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	地域企業の製品を優先的に採用している。 Madeinjapanの自社製品を海外に輸出している。 地域企業と連携し地域の力を活用した事業を進めている								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念･経営方針を社内で共有している。 年1回の経営方針発表会にて理念･目標をスタッフに説明し共有している。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	就業規則や環境経営方針に法令遵守を明文化している。 【予定】法令遵守についての研修を行う。																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	EA21の組織にて担当者を明確にし、組織図にて各担当部署が整備されている。																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	適宜ステークホルダーと対話、情報収集し自社が社会に及ぼす影響を把握し適切に対応している。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	開発段階において、社内、顧客も交えてリスクの洗い出しを行い、適切な対策を講じている。																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	CSRの考えに基づき経営目標を策定し、経営方針発表会他にて適宜全スタッフと考えを共有し責任を持った対応に取り組んでいる。																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	【予定】BCP策定を実施する。									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	会社の中核を担える人材育成を行っている。 事業承継についてのあらゆる可能性を検討し、より良い形での承継を計画している。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）